

今年度初の発行です。今年度もよろしくお祈りします。

H26 年度合格実績

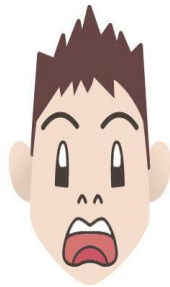
尚志館 特進科 全特 1 名
 A 特待 1 名
 普通科 全特・A 特 各 1 名
 神村学園 文理科 全特 1 名
 普通科 特待 1 名
 鹿児島第一高校 全額特待 3 名
 特筆

曾於高校
 畜産食農科 1 名
 鹿屋高校 普通科 1 名
 鹿屋中央 普通 B 特 1 名
 都城東 総合ビジネス 1 名

おめでとう！

1. 鹿児島第一高校の全額特待。推薦試験ならまだハードルは低いのですが、一般受験の生徒に全額特待はなかなか厳しく、受験者の上位 10% にしか出しません。
2. 尚志館高校 特進科 2 名合格。2 名とも併願だったので上記同様。専願での不合格者多数 (100 人前後) だったので大したものです。
3. 「公立高校 (地域の) は落ちない神話」はもう過去のもの！ 不合格者数 (学区内と周辺) 県教育委員会の HP より

	不合格者数	二次試験合格者数
曾於高校		
文理科	4	0 名合格/0 名中 (以下 0/0 と表記)
普通	3	募集なし (一次で定員)
畜産食農	3	0/2
機械電子	1	0/0
商業	4	0/0



志布志	0	1/1
鹿屋	2	6/6
鹿屋農業	19	5/7
鹿屋工業	11	0/0
鹿屋女子	1	2/2
串良商業	4	3/3
垂水	4	1/8

学区外		
国分	3	1/1
加治木	14	募集なし
加治木工業	8	3/3
福山	5	2/2
鶴丸	78	募集なし
甲南	112	募集なし
鹿児島中央	96	募集なし

いかがでしょう。初めて見る方には結構衝撃的なのではないでしょうか。

数年後は皆さんの番です。中 3 の秋になってから慌てても遅いです。日々努力を積み重ねましょう。

各テスト結果

Get the 賞！	
A. パーフェクト賞	(100 点満点！ 但し他教科も全て学年平均を上回ること)
B. ベスト 5 賞	(学年順位が 5 番以内の時、但し前回受賞者は 3 番とする)
C. 初ベスト 10 賞	(入塾後、学年での順位が初のベスト 10 入り)
D. +10 賞	(前回より学年での順位が 10 番以上上がった時)
E. グレードアップ賞	(前回より学年での順位が半分以内になった時)
F. グローアップ賞	(入塾前の順位より半分以内になった時)
※国・社・数・理・英の 5 教科 (定期テストのみ) とする	
※C, D, E, F の重複はなしとする	※チューリップ券 1 枚

学年末テスト

B → 中 3 M・U さん、R・H さん、S・I さん (中 3 は最後も)
 B → 中 2 Y・H さん、 (1~3 位独占！)
 D → 中 2 H・Y さん
 今回受賞できなかった生徒たち、次こそ頑張れ！

中 2 (現在中 3) は約 80% の生徒が順位を上げていました。先日 (5/12) の学校実力テストではどうなるでしょうか。

統一模試 (偏差値) 中 1・2 年 春期 3/8 実施 (前回 12/7 との比較)
 Y・Y さん +6.8 R・O さん +2.4

うーん、学校のテストは順位が上がっても、統一模試の偏差値はなかなか上がらない、というよりも今回半数近くの生徒が下がっていました。

「井の中の蛙」にならないよう学校の順位で満足せず、統一模試のデータを見て、日々の努力を積み重ねましょう。

花子とアン (NHK の朝ドラ)

またまた朝ドラにハマっています。かれこれ 6 年以上。世間的にも「あまちゃん」以降好調なので、ご覧になっている方も多いでしょう。

今回はこれまでとは違う視点もあるので、ちょこちょこ紹介しようと思います。



概要

この主人公の村岡花子は『赤毛のアン』日本語版の訳者で、彼女の生涯をドラマ化したものです。

(『赤毛のアン』を読まれたお母さんは多いのでは?)

皆さんは、「超訳」という言葉をご存知ですか。これは推理小説「シドニィ・シェルダン」の本を『10 人程にそれぞれ訳してもらい、それらを組み合わせると何でも推敲し、より自然な日本語に訳す』ことをその出版社では「超訳」といい、その会社による造語です。その結果同シリーズは大ヒットを続けました。原書が面白いのはもちろんですが、それを「どう訳すか」によって日本での売れ行きが大きく変わります。私もその本が面白すぎて当時 (20 年前) 平均睡眠時間 3 時間で 350 ページ前後を 3 日間で読み終えたことが何回もありました。

この主人公の「村岡花子」は「その超訳に値する翻訳を一人でやってのけた」といっても過言ではないと思います。

例えば、“Anne of Green Gables”のタイトルをどう訳すか。「窓辺の少女」「窓に寄る少女」「夢見る少女」…いろいろと考えた結果、娘の「『赤毛のアン』がピッタリだわ」の意見に従い、タイトルとしたのでそうです。

直訳だと、「グリーンゲイブルズのアン」、または「緑の切り妻屋根のアン」と訳すでしょう。このタイトルで売れると思いますか？

やはり、どう訳すかで感じ方が大きく変わります。



(カナダ 赤毛のアンモデルの家)

番組内で出てくる英語を彼女がどう訳すか、というの私にとっては大きな見どころの一つとなっています。

この続きは次号で